

●「VBL院生夏の学校」  
 9月5日(水)~7日(金) / 産学官連携プラザ 3F 産学連携ホール  
 問い合わせ先:ベンチャービジネス育成研究室  
 田中仁夫 Tel:088-656-7595  
 E-mail:ktanaka@ccr.tokushima-u.ac.jp

●「イノベーションジャパン2007」  
 9月12日(水)~14日(金) / 国際フォーラム  
 問い合わせ先:産学連携研究企画部 Tel:088-656-7592  
 E-mail:center@ccr.tokushima-u.ac.jp

●「第1回MOT講座」  
 9月19日(水)13:30~17:00 / 産学官連携プラザ 3F 産学連携ホール  
 問い合わせ先:イノベーション人材育成センター Tel:088-656-7592  
 E-mail:center@ccr.tokushima-u.ac.jp

●「創業ベンチャー経営者募集に関する説明会」  
 9月21日(金)18:00~ / 秋葉原ダイビル  
 9月28日(金)18:00~ / 大阪サテライトオフィス  
 問い合わせ先:産学連携研究企画部 矢野照久 Tel:088-656-7592  
 E-mail:center@ccr.tokushima-u.ac.jp

●第2回四国地区「大学知的財産戦略研修会」  
 10月5日(金) / 産学官連携プラザ 3F 産学連携ホール  
 問い合わせ先:産学連携・研究推進課 Tel:088-656-7592  
 E-mail:sangaku@ccr.tokushima-u.ac.jp

●「徳島ビジネスチャレンジメッセ」  
 10月11日(木)~13日(土) / アステイ徳島  
 問い合わせ先:産学連携研究企画部 Tel:088-656-7592  
 E-mail:center@ccr.tokushima-u.ac.jp

●「第54回徳島大学解剖体慰霊祭」  
 10月16日(火) / 徳島大学大塚講堂(蔵本)  
 問い合わせ先:医学・歯学・薬学部等事務部 学務課 Tel:088-633-9649  
 E-mail:isygakumudgic@jim.tokushima-u.ac.jp

●「平成19年度国立大学法人徳島大学永年勤続者表彰式」  
 11月22日(木) / 医学部青藍会館大講義室(蔵本)  
 問い合わせ先:総務部人事課福祉第一係 Tel:088-656-8603  
 E-mail:jnfuku1k@jim.tokushima-u.ac.jp

●「第4回大学院ヘルスバイオサイエンス研究部シンポジウム」  
 11月22日(木) / 13:00~17:00 / 長井記念ホール(蔵本)  
 問い合わせ先:医学・歯学・薬学部等事務部 総務課 Tel:088-633-9118  
 E-mail:isysoumu1k@jim.tokushima-u.ac.jp

●「第4回大学院ヘルスバイオサイエンス研究部市民講座」  
 11月25日(日) 13:00~17:00 / 徳島県郷土文化会館  
 問い合わせ先:分子制御内科学分野 Tel:088-633-9271

●第2回国際シンポジウム・FDワークショップ  
 「21世紀の口腔科学が目指すべき方向性 - 全身の健康を担う  
 オーラルサイエンス」  
 12月8日(土) / 長井記念ホール・歯学部  
 問い合わせ先:医学・歯学・薬学部学務課第二教務係  
 Tel:088-633-7303  
 E-mail:isygakumu2k@jim.tokushima-u.ac.jp

お詫びと訂正  
 No.128(2007夏号)に掲載しま  
 した「名誉教授の称号授与式」におき  
 まして、次の方々の元の所属部署が大  
 学院ソシオテクノサイエンス研究部とな  
 っておりますが、大学院ヘルスバイオサ  
 イエンス研究部の誤りでしたので、お詫  
 びして訂正させていただきます。

伊東 進 名誉教授  
 岸 恭 一名誉教授  
 山内 卓 一名誉教授  
 福澤健 治 名誉教授



■第58回四国インカレ開催

第58回四国地区大学総合体育大会(四国インカレ)は、一部の競技を除いて6月29日(金)から7月1日(日)までの3日間の日程で、愛媛県を舞台に愛媛大学が当番大学となり、28大学・短大から約3500名の学生が参加し、26競技に熱戦が繰り広げられました。

本学からは、23競技に421名(男子347名、女子74名)の学生が出場し、競技別では、優勝が自動車競技(男子)、水泳競技(女子)、第2位が体操競技(男子)、第3位が水泳競技ソフトテニス・剣道・ボート(以上男子)、硬式庭球(女子)と好成績を残しました。

本学の総合成績は、男子が第4位(昨年第5位)、女子が第5位(昨年第7位)と健闘しました。

	優勝	第2位	第3位
男子競技	愛媛大学	松山大学	高知大学
女子競技	松山大学	愛媛大学	愛媛女子短期大学

授与式・日亜成績優秀表彰式を挙

工学部では、7月3日(火)に日亜特別待遇奨学生採用証書授与式を日亜ホールにおいて挙行しました。

日亜特別待遇奨学生制度は日亜化学工業株式会社から贈られた奨学寄附金を原資とし、学部生及び大学院生を対象とする返済の義務を課さない奨学金制度で、21世紀を担う人材育成を行うことを大きな目的としています。

入学試験や前年度までの成績、研究業績等で選考された学部生13名、大学院生12名、国際連携大学院コース学生10名の、計35名が大学院ソシオテクノサイエンス研究部長から採用証書を授与され、採用生代表の生物工学科遠藤卓也さんが、謝辞を述べました。

この奨学生制度は平成17年度から実施されており、奨学生には進級時に学業成績等の審査を条件に、卒業(修了)までの間、毎月10万円



が支給され、国際連携大学院コースの奨学生には、1年間毎月7万円が支給されます。

また、同日午後には日亜成績優秀表彰式も挙行され、学科長から推薦された21名の前年度の成績優秀者が大学院ソシオテクノサイエンス研究部長から優秀賞を授与され、奨学金として20万円が支給されました。

この成績優秀者制度も奨学生制度と同じ寄附金を原資とし、入学後の努力により優秀な成績を修めた学部学生に対し、奨学金を贈ることににより勉学意欲を高めることを目的としています。

■「徳島地域連携協議会」開催

「平成19年度第1回徳島地域連携協議会」を8月3日(金)に徳島大学地域・国際交流プラザ(日亜会館)で開催しました。

本協議会は、徳島県、県教育委員会、県市長会、県町村会及び徳島大学が連携協力し、連携事業の企画・調整を行い、地域貢献に資する目的で設置されたもので、今回で7回



目の開催となります。会議では、黒田会長(徳島大学副学長)の進行により、今年度の共催

事業計画及び県・市町村と大学の連携・要望事項について審議され、事業計画では、ゴーヤーによる「緑のカーテン事業」を通じて地球温暖化対策や町財政縮減に取り組んでいる上板町でのタウンミーティング開催や平成20年1月~2月に地域交流シンポジウムを開催することが承認されました。

また、県・市町村と大学の連携・要望事項では、大学が5月に自治体と大学に対して実施したニーズ調査の結果、要望書の提出があった39件について意見交換が行われ、今後、連携に向けて協議を開始し、可能なものから推進していくことが了承されました。

■PFA国際歯学会奨学金の受賞

7月27日にピエールフォシャルアカデミー(PFA)国際歯学会において歯科学5年次学生の高嶋まゆりさんが奨学金を授与されました。ピエールフォシャルアカデミー(PFA)は1963年に米国で



設立され、世界65カ国で7000名の会員を擁する組織です。

本奨学金は、各国の歯科大学歯学部の中から、学業成績に優れ且フリーダークシップをとり将来が期待される学生に授与されるものであります。今回、当歯科学科学生に対し、この奨学金が授与されることとなり贈呈式が行われました。

■オープンキャンパス2007を開催

高校生を対象としたオープンキャンパスを、8月2日(木)「医学部栄養学科・保健学科、工学部」、3日(金)「医学部医学科、薬学部」、7日(火)「総合科学部」、8日(水)「歯学部」の日程で開催しました。台風5号の影響で参加者数が減少した学科もありましたが、全体的には、県内外の高校生、保護者、高校教員

等を合わせて、前年度より389人多い2667人の参加がありました。各学部では、学部・学科紹介、入学試験案内、施設見学をはじめとして、授業・実習の体験、研究内容紹介など、多彩な内容を準備し、本学のPRに取り組みました。

■第11回科学体験フェスティバルin徳島

徳島大学工学部は、子ども達が実際に科学実験等に参加することを通じて、科学の楽しさや不思議さを知ってもらおうと、毎年恒例となっている体験型イベント「科学体験フェスティバル in 徳島」を8月4日(土)、5日(日)の両日、同学部構内で開催しました。

同フェスティバルは、子ども達の理科離れに歯止めをかけようと、平成9年度から始まり、11回目となる今回も「さわって、つくって、楽しい科学」をコンセプトに、同学部の各研究室をはじめ、県内の小・中・高校の教員や大塚製薬(株)、日亜化学



工業(株)、株タダノといった県内外の企業等から出展された45のブースとともに、小・中学生図画コンクール入賞作品展も開催しました。

今年の特別企画は、技術職員が中心となつて企画を更に練り上げた「スペースワールド」の新企画版。地球の6分の1の重力を疑似体験できる「ムーンウォーク」や、レプリカの宇宙服を試着できるコーナー「宇宙服に触れてみよう」など子ども達は、歓声を上げていました。

また、昨年に引き続き、宇宙航空研究開発機構から山方健士開発員を、今年新たに、高知県立芸西天文学習館からコメントハンターとして有名な関勉氏を講師に招へいし、特別講演会「宇宙服のなぞ」、「彗星のなぞと彗星探し」をそれぞれ開催した。講演会には、徳島県立城内中学校の生徒をはじめとして70

名近い聴衆があり、宇宙服や彗星に関する講演に熱心に聴き入っていました。



■「イノベーション人材育成センター」設置記念式典「及び平成19年度産学官連携製造中核人材育成講座開講式」

8月10日(金)本年度新たに設置した「イノベーション人材育成センター」設置記念式典「平成19年度産学官連携製造中核人材育成講座開講式」を開催しました。

式には、四国経済産業局、徳島県、県内企業など同センターの人材育成講座への支援者ら約80名以上が出席し、佐竹イノベーション人材育成センター長、青野学長の挨拶の後、林恒夫四国経済産業局次長、齋藤秀生徳島県商工労働部長、久米徳男徳島県機械金属工業会理事長から祝辞をいただきました。

人材育成講座は、平成17、18年度に経済産業省産学連携製造中核人材育成事業の再委託を受け、企業の求める実践的な技術者を養成する育成カリキュラムを開発したもので、本年度から県内関係機関・企業など約100団体の支援のもと、自立化事業として実施します。補助事業の後、関係各所からの支援・要望を受け自立事業化できた成功事例は、全国的にも極めて少なく、本学の有する教育効果を社会に還元し、産業の振興に貢献できることを目指しています。